



# HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 令和元年9月30日発行



▲富can祭テープカット



▲富can祭風景

関東大会に出場した選手たち▶

▼全国大会に出場した選手たち



令和元年

9/30

第59号

- 「五輪の思い出」 学校長 岡部 宣男 ..... 2ページ
- 令和2年度入試要項 ..... 3ページ
- 関東大会 ..... 4~5ページ
- 高校総体・総文祭 ..... 6~7ページ
- 本校舎トピックス ..... 8ページ
- 富田キャンパストピックス ..... 9~10ページ
- 白鷗大学だより ..... 11ページ
- PTAだより・一日体験学習 ..... 12ページ



# 五輪の思い出

白鷗大学足利高等学校長 岡部 宣男

2020年の東京五輪・パラリンピックまであと1年と迫った。大会日程やメダルデザインが公表され、ボランティアの募集も終了。チケットも販売された。代表選手選考のため各種目の競技会が開催され、既に一部の競技では代表選手が決定した。また、バスケットボールのワールドカップも中国で開催され、9月にはラグビー・バレーボールのワールドカップが日本各地で開催した。様々な競技で国際大会が行われ、来年の東京五輪・パラリンピックに向けて、スポーツに対する人々の関心はますます高まっている。

1964年10月、前回の東京五輪。50年以上も前のことでありながら、私の記憶にはつきりと残るシーンがある。

女子80kgハードル決勝、依田郁子選手はいつものように全身にサロメチールを塗り、スタート地点で後転倒立をしてから走った。5位入賞だった。男子マラソンでは、裸足の英雄と呼ばれたエチオピアのアベベ・ビキラ選手が鉄人のような走りで見事2位の競り合いはトラック内に持ち込まれ、円谷幸吉選手とヒートリー選手の壮絶な争いの末、円谷選手は惜しくも3位だった。そして、回転レシーブを得意技とし、東洋の魔女と呼ばれた女子バレーボールチームは強豪ソ連を破って優勝。金メダル

を獲得した。

10月24日の閉会式。五輪では整然と並んで行進するはずの各国の選手たちが、バラバラに入り乱れ



仲間の応援を背に

て入場した。国も人種も分け隔てなく、笑顔で肩を組み、和気あいあいと身振り手振りで話をしながら飛んだり跳ねたり、まるでお祭りのようだった。「世界はひとつ」「平和の行進」はまさにオリンピックズムを具現化した感動の閉会式だった。

また、本校の卒業生が出場した2000年シドニー五輪のソフトボール競技。マルベリーホールでのパブリックビューイングで応援した。石川多映子（投手・94年卒・大平中出身）、山田美葉（捕手・95年卒・宝泉中出身）、伊藤良恵（野手・96年卒・館林三中出身）、増淵まり子（投手・98年卒・陽南中出身）。シドニー郊外

ブラックタウンの球場が夢の舞台。

予選リーグを7勝全勝で通過、第3戦の米国戦は石川多映子が登板、延長11回タイブレークの末、2対1で、米国に30年ぶりに勝利した。

決勝戦は予想通りページシステムで勝ち上がった米国と再度対戦。増淵まり子が先発、4回に1点先取するも5回に同点とされ、投手交代。天候が悪化し雷鳴が聞こえる中で延長に入った。二死より四球の走者、雨が急に強くなる。次打者の打球は左翼への大飛球、左翼手のグラブをかずめ後逸、その間に走者が本塁に還り、延長8回、1対2で敗戦。銀メダルとなる。

雨で濡れた顔に大粒の涙が流れていた。2004年アテネ五輪では伊藤良恵が連続出場し銅メダル獲



先輩方に続け

得。2008年北京五輪では染谷美佳（投手・02年卒・ブラジル出身）が出場、ついに金メダルを掌

中にした。



自己ベストを目指して

ここで、「オリンピック憲章」に基づき、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が定めた2020年東京大会（東京五輪・パラリンピック）の基本コンセプトを紹介する。「2020年の東京大会は『すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）』、『一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）』、『そして、未来につなげよう（未来への継承）』を3つの基本コンセプトとし、史上最もイノベータータイプで、世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。」

1964年の東京五輪は日本を大きく変えた。2020年の東京五輪・パラリンピックは、日本を、世界をどう変えるだろうか。世界の多くの人々と、多くの感動を共有できることを心から願っている。

## 入試相談会 (中学校3年生と保護者対象)

	本校舎	富田キャンパス	埼玉会場
期 日	11月 4日(月) 11月 9日(土) 11月30日(土)	11月 2日(土) 11月24日(日)	10月21日(月) 市民プラザかぞ 17:00~20:00 10月24日(木) ワークヒルズ羽生 17:00~20:00 11月 6日(水) 市民プラザかぞ 17:00~20:00 11月16日(土) ワークヒルズ羽生 10:00~15:00 11月23日(土) 市民プラザかぞ 10:00~15:00
時 間	9:00~12:30	11/ 2 14:00~17:00 11/24 9:00~12:30	

※本校の入試に関する質問に応じますので、ご都合のよい日時においでください。事前のお申し込みは不要です。この件についてのお問い合わせは各校舎に連絡するかEメールをお願いします。✉ nyushi@hakuoh.ed.jp

令和2年度の入試要項が下記のように決まりました。出願はすべてインターネットで行います。詳細につきましては、本校ホームページ、または本校の入試要項でご確認ください。  
なお、今年度も左記のとおり入試相談会を実施し、入試に関する質問にお応えします。お気軽にご参加ください。

# 令和2年度 入試要項決まる

## 令和2年度入試要項

	試験別	コース(入学校舎)	試験日	試験教科	出願期間	合格発表
第1回入試	学業特待生入試(併願)	特別進学コース(富田キャンパス) 進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 合格者は、希望により本校舎の文理進学コース、または総合進学コースから選択して入学手続きができます。	令和2年 1月5日(日)	国・社・数・理・英	令和元年 11月27日(水)~12月5日(木)	令和2年 1月10日(金)
	特別進学コース入試(単願)	特別進学コース(富田キャンパス) 不合格者については、試験の得点により学業特待生入試に換算して判定します。		国・社・数・理・英 面接		
	単願推薦入試	進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 総合進学コース(本校舎)		国・数・英・面接		
	運動部・文化部特待生入試(単願)	文理進学コース(本校舎) 総合進学コース(本校舎)	国・数・英・面接 実技			
第2回入試	学特ランクアップ入試(併願)	特別進学コース(富田キャンパス) 進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 合格者は、希望により本校舎の文理進学コース、または総合進学コースから選択して入学手続きができます。	令和2年 1月26日(日)	国・数・英	令和2年 1月10日(金)~16日(木)	令和2年 1月30日(木)
	一般入試(併願)	進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 総合進学コース(本校舎)		国・数・英・面接		

一日体験学習に、  
生徒1899名  
保護者1290名  
が来校しました。

8月24日(栃木県内の方)  
25日(栃木県外の方)  
〈於 本校舎・富田校舎〉



### 白鷲大学足利高等学校富田キャンパス

- JR富田駅より徒歩3分
- 富田キャンパスへは東武伊勢崎線足利市駅・館林駅・太田駅および尾島方面より登下校時にスクールバスを運行します。
- 古河・結城方面および葛生方面からは富田キャンパスと本校舎へ登下校時にスクールバスを運行します。

〒329-4214 栃木県足利市多田木町1067  
TEL.0284-91-2633



### 白鷲大学足利高等学校本校舎

- JR足利駅南口より徒歩1分
- 東武線足利市駅より徒歩10分

〒326-0054 栃木県足利市伊勢南町3-2  
TEL.0284-41-0890(代)  
HPアドレス: <http://hakuoh.jp/>

# 関東大会

インターハイに向けて

10部 143名が出場

## ボクシング部

吉澤さん、二度目の関東優勝に輝く！

第61回関東高校ボクシング大会（5月31日～6月3日、茅ヶ崎市総合体育館）に本校からは、ライトフライ級で総進2の4山田楓海君（大平南中）、バンタム級で文理3の4木村鴻汰君（佐野北中）、ライト級で商業3の1伏田光君（大平南中）、ライトウェルター



関東大会出場者  
左から3人目が優勝に輝いた吉澤さん

級で普通3の1田中大介君（美田中）、女子フライ級で総進3の1リフィーバー仁菜さん（佐野北中）、女子バンタム級で総進3の2吉澤颯希さん（加須昭和中）の6名が出場しました。結果は、吉澤さんが二度目の関東優勝に輝いたほか、木村君とリフィーバーさんが第3位入賞、そして女子の学校対抗では準優勝となりました。吉澤さんは、初戦はわずか35秒

でダウンを取り、勝利を収めました。決勝戦でも持ち前の負けん気の強さとパワーで相手を圧倒し、見事優勝となりました。ご声援ありがとうございました。

## 柔道部

男子団体戦5位入賞

5月31日～6月2日、群馬武道館にて第67回関東高等学校柔道大会が開催されました。

本校からは男子団体戦1チームと、個人戦では女子が1名出場しました。レベルの高い大会ではありましたが、本校選手は粘り強く戦い抜き、団体戦で5位入賞という成績を残しました。敗れはしたものの内容のある勝負ができ、インターハイ予選に向けて勢いがつきました。また、個人戦は初戦敗退という結果に終わりました。今後は、一つひとつの課題点を修正し、より良い結果を残せるようにに研究し努力していきます。



関東大会に出場した選手たち

全国の舞台でも活躍できるように頑張ります。応援ありがとうございます。

- 男子団体戦出場メンバー  
普通3の1 木村 力也君（金目中）  
普通3の1 澤口 宗志君（十二月田中）  
普通3の2 岡崎 竜丸君（足利一中）  
普通3の2 津端 洸君（十二月田中）  
普通3の2 萩原 龍聖君（足利一中）  
文理3の4 杉之内 暁君（喜連川中）  
文理2の2 滝澤瑠貴弥君（結城中）  
□女子個人戦出場メンバー  
普通3の5 岡 菜月さん（足利一中）

## 陸上競技部

女子4×100mリレー 第3位



女子リレーメンバー  
左から尾崎さん福田さん関根さん保坂さん

6月14～17日、茨城県ひたちなか市笠松運動公園陸上競技場において関東高校総体が行われました。関東高校総体は全国高校総体予選を兼ねている大会ということもあり、各種目とも白熱した競技となりました。結果は女子の4×100mリレーにおいて第3位に入賞したのははじめ、多数の選手が入賞を果たしました。女子は総合得点でも第7位となりました。また、全国高校総体へも男子1名、女子8名の出場を決めることができました。

## 関東高校総体入賞者

- 男子100mハードル  
第5位 普通3の1 吉田 龍生君（佐野北中）  
第8位 総進1の1 中里 碧翔君（天谷中）
- 女子800m  
第4位 文理2の1 飯塚 遥香さん（桑中）  
第8位 総進1の2 太田 瞳さん（桑中）
- 女子1500m  
第6位 総進2の2 藤原 唯奈さん（真岡中）
- 女子4×100mリレー  
第3位 文理3の3 尾崎 朱凜さん（壬生中）  
普通3の3 福田 捺巴さん（佐野北中）  
普通3の5 関根 ころんさん（三和中）  
総進1の1 保坂 日菜さん（桑中）
- 女子二設跳  
第7位 文理3の3 相場美夏石さん（佐野北中）

## 女子バスケットボール部

関東大会Bブロック準優勝！

6月8日より茨城県日立市池の川さくらアリーナで開催された関東高校女子バスケットボール選手権大会のBブロックに栃木県第2代表として出場しました。

初戦は東京都代表の国本女子高校に、2回戦は茨城県代表の水戸第二高校にそれぞれ勝利。準決勝でも千葉県代表の千葉経済高校に勝利しました。決勝戦は東京都代表の佼成学園女子高校と一進一退の攻防が続き2回の延長戦を行いました。最後は85対86で敗れました。

今回の大会を通して1点の重みを痛感し、競った時こそ精神的な

## バントワリング部

松島朋花さんが第7位入賞



大会会場にて

6月29・30日、千葉ポートアリーナで開催された「関東バントワリングコンテスト」の選手権「トウバトンU-17」に総進2の4松島朋花さん（敷塚本町中）が出場し、第7位に入賞しました。2月の全日本選手権関東支部大会では順位を上げ、全日本への出場権を得られるよう一層努力します。



松島朋花さん

## 水泳部

### インターハイ出場を目指して

7月20～22日、山梨県小瀬スポーツ公園水泳場において第70回関東高等学校選手権水泳競技大会が行われました。入賞者及びインターハイの標準記録を突破し出場権を獲得した選手は以下の通りです。

- 入賞者
  - 1000m背泳ぎ第8位
  - 2000m背泳ぎ第3位
  - 普通3の4 磯野 稜介君(山辺中)
  - 4000m個人メドレー第7位
  - 文理3の3 中里 圭佑君(桐生中央)
  - 2000mバタフライ第8位
  - 文理3の2 松下 颯太君(毛野中)
  - 男子4000mメドレーリレー決勝9位
  - 普通3の4 磯野 稜介君(山辺中)
  - 文理2の1 加藤 晟人君(毛野中)
  - 文理3の2 松下 颯太君(毛野中)
  - 総進2の2 大谷 遥斗君(足利三中)
  - インターハイ出場者
    - 500m自由形
    - 文理3の1 福島 悠貴君(佐野西中)
    - 2000m自由形
    - 総進2の2 大谷 遥斗君(足利三中)
    - 1500m自由形
    - 文理3の3 中里 圭佑君(桐生中央)
    - 男子4000mリレー
      - 文理3の1 福島 悠貴君(佐野西中)
      - 総進2の2 大谷 遥斗君(足利三中)
      - 普通3の5 北條 涼太君(今市中)
      - 普通3の2 福原 健君(上三川中)
      - 男子8000mリレー
        - 文理3の3 中里 圭佑君(桐生中央)
        - 普通3の5 北條 涼太君(今市中)
        - 総進2の2 大谷 遥斗君(足利三中)
        - 総進1の4 福田 紫悠君(晃陽中)

## 女子ソフトテニス部

### 個人戦で3ペアがベスト16



サーブを打つ大根田さん

5月31日～6月2日、埼玉県狭山市智光山公園テニスコートで関東高校大会が行われました。本校は県予選で優勝した団体戦と、個人戦で7ペアが出場しました。

- 女子4000mリレー
  - 文理2の4 長 莉奈さん(佐野北中)
  - 文理2の3 竹澤 天音さん(小山三中)
  - 文理1の2 渡邊 夢乃さん(赤見中)
  - 文理1の4 増山 莉果さん(毛野中)
  - 個人戦出場メンバー
    - 普通3の3 若林彩結美さん(天平南中)
    - 普通3の4 飯塚 明さん(山辺中)
    - 普通3の5 西山 貴理さん(三島中)
    - 普通3の2 奥住 菜月さん(佐野西中)
    - 文理2の3 栗原 蒼菜さん(足利二中)
    - 総進2の1 中島 妃菜さん(足利一中)

## 男子ソフトボール部

### 打撃に大きな課題

6月1～2日にさいたま市荒川運動公園で関東高等学校男子ソフトボール大会が行われました。初戦の相手は埼玉県の強豪校、埼玉栄高等学校でした。先発投手は進学3の4 諸星和樹君(桐生中央中)で初回を0点に抑え、まずまずの滑り出しとなりました。しかし、その後は崩れ、進学3の1



先発の諸星和樹君

齋藤捷稀君(木崎中)に継投するも8失点を喫しました。打撃は相手投手の全国レベルのピッチングを打ち崩すことができず、進学3の1 太田陸久君(小山城南中)のヒット一本のみに抑えられ、完封されてしまいました。打撃の強化を中心に多くの課題を残す大会となりました。

## 男子バレーボール部

### 12年ぶりの出場

関東高等学校男子バレーボール大会が、5月31日～6月2日、宇都宮市の清原体育館と小山市の県南体育館にて開催されました。本校は、栃木県の第4代表として、12年ぶり8回目の出場を果たしました。

小柄な本校チームは、全員で拾って、全員で繋ぐバレーを目指して練習に励んできました。関東大会の1回戦、茨城県代表の勝田工業高等学校戦では、地元開催ということもあって力を出し切ることができ、2対0で勝利することができました。2回戦の相手は東

## 体操部

### 男子個人に2名出場

5月31日～6月2日、千葉県総合スポーツセンター体育館で関東大会が開催され、男子個人に進



出場した秋田君(左)と原君



スパイクを打つ普通3の3手島海人君(天平南中)

学3の3 秋田詠大君(足利二中)と、文理1の4 原奏暉君(毛野中)の2名が出場しました。関東地区の体操競技は全国的にもレベルが高く、非常に高度な技術が要求される大会です。上位入賞にはなりませんでしたが、緊張感溢れる中、選手たちは平常心を保ち日頃の練習の成果を十分に発揮した演技をすることが出来ました。これからも向上心を持って、さらに高度な技に挑戦していくとともに、安定感のある演技を目指し日々鍛錬し、部員一同精進していきたいと思えます。

# 響かせろ我らの魂 南の空へ 感動は無限大 南部九州総体 2019

競技開催期間:2019年7月24日(水)~8月20日(火)



## 女子ソフトテニス部 団体個人ともにベスト16

7月30日～8月1日、宮崎市生目の杜運動公園で全国高校総体ソフトテニス競技大会が行われました。本校は団体戦(3年ぶり25回目)のほか、4ペアが個人戦に出場しました。

個人戦では3ペアが初戦敗退でしたが、三好夏未さん・牧野奏音さんペアは2、3回戦を4対0と安定した内容で勝利し、そのまま2日目へ駒を進めました。2日も順調に勝ち進みベスト8をかけた試合に挑むも、今大会優勝ペアに2対4で敗戦。ベスト16という結果となりました。三好さんは2年連続のベスト16です。

団体戦1回戦は冬季九州大会優勝の地元宮崎県延岡学園との対戦でしたが、3対0で勝利。続く2回戦も北海道札幌龍谷学園に2対

## 陸上競技部 真夏の沖繩で善戦及ばず……

陸上部は、8月4～8日、沖縄市・タピック県総ひやごんスタジアムで行われた全国高校総体陸上大会に出場しました。男子110m障害に普通3の1吉田龍生君(佐野北中)、女子800mに文理2の1飯塚遥香さん(桑中)、女子1500mに総進2の2藤原

1で勝利しました。4年ぶりのベスト8をかけた試合では近畿大会優勝の兵庫県須磨学園と対戦し、3番勝負に持ち込むもファイナルゲームで惜しくも敗退、ベスト16という結果となりました。ご声援ありがとうございました。

- 団体戦及び個人戦出場メンバー
- 普通3の1 大久保由希(下妻中)
- 普通3の4 海老根香澄(鬼怒中)
- 普通3の4 大根田悠花(芳賀中)
- 総進2の2 牧野 奏音(黒磯中)
- 総進2の2 三好 夏未(壬生中)
- 総進2の3 牧野 詩音(黒磯中)
- 総進2の3 山中 美緒(花園中)
- 文理2の4 大橋 琉那(壬生中)



ポイントを取りハイタッチする三好さんと牧野(奏)さん

初日、60kg級の普通3の1大坪剣斗君(調布中)が好調で、初戦、得意の肩車で一本勝ちを取ると、続く3回戦においても強豪相手にまたもや肩車が飛び出し優勢勝ち、ベスト8に進出しました。準々決勝では一本負けという結果に終わってしまいました。インターハイ5位入賞という輝かしい結果を残しました。

## 柔道部 大坪君、個人戦で5位入賞

8月7～11日、鹿児島市鹿児島アリーナ総合体育館にて、第68回全国高等学校総合体育大会柔道競技大会が開催されました。本校は栃木県予選で7年ぶりに団体戦に敗れてしまい、とても悔しい思いをしましたが、個人戦では男子3名が全国上位を目指しての出場となりました。



5位入賞の大坪君

- 個人戦出場メンバー
- 普通3の1 澤口 宗志君(土月田中)
- 普通3の1 大坪 剣斗君(調布中)
- 普通3の2 岡崎 竜丸君(足利一中)

が心配されましたが、各選手とも、調整は順調にすすみました。しかし、どの選手も善戦したものの、すべての種目で予選敗退という大変悔しい結果となってしまいました。

リレーの控え選手となった総進2の2吉武祐乃さん(黒磯北中)、総進1の3奈桐瑞月さん(三和中)も含め、1、2年生らが来年の雪辱を強く誓いました。



短距離メンバー

唯奈さん(真岡中)、そして女子400mリレーには、第1走者から文理3の3尾崎朱凜さん(壬生中)、普通3の3福田捺巴さん(佐野北中)、普通3の5関根ころさん(三和中)、総進1の1保坂日菜さん(桑中)のオーダーで参加しました。今年は梅雨明けが例年に比べて遅れ、各選手ともまだ暑さ慣れしていない状態での真夏の沖縄入りで、その後の体調

## 水泳部 水飛沫をあげて

8月17日～20日に熊本県熊本市総合室内プール（アクアドーム）において、第87回日本高等学校選手権水泳競技大会が開催され、男子12名・女子5名が出場しました。台風の影響により、コンディションとメンタルの調整に苦慮した大会でありました。その中で普通3

の4磯野稜介君（山辺中）は男子1000メートル背泳ぎで自己ベストを更新、B決勝に進出し、7位入賞となりました。文理3の1福島悠貴君（佐野西中）が50メートル自由形、総進2の2大谷遥斗君（足利三中）が200メートル自由形、文理3の3中里圭佑君（桐生中央中）が400メートル個人メドレー、1500メートル自由形、文3の2松下颯太君（毛野中）が200メートルバタフライ、磯野君が200メートル背泳ぎ、団体では、男子400メートルリレー、800メートルリレー、女子400メートルリレー、80



大会会場にて

0メートルリレーに出場しました。皆ベストを尽くしましたが、予選敗退となりました。本大会の経験を生かして、さらに向上したいと思えます。応援ありがとうございました。また来年のインターハイ出場に向けて精進します。

## ボクシング部 山田君、全国ベスト16!

第73回全国高等学校ボクシング選手権大会（7月28日～8月3日、宮崎市総合体育館）に本校からは、



左から山田君、生方君、木村君

ライトフライ級で総進2の4山田楓海君（大平南中）、ライト級で文理3の4木村鴻汰君（佐野北中）、ライトウェルター級で普通3の4生方龍信君（羽生東中）の3名が出場しました。

結果は山田君がベスト16、木村君と生方君は初戦敗退となりました。山田君は、軽快なフットワークを武器にポイントを重ね、3ラウンドにはダウンを奪うなどベイスを握り、初戦突破となりました。

上々の滑り出しでしたが、試合は相手のペースで、自分のボクシングができない間合いで試合が進み、ポイントを上げられず判定負けとなってしまいました。しかしながら、2年生の山田君には来年にもチャンスがあります。今大会での悔しさを忘れずに、より一層精進してほしいと思います。

敗戦の悔いは残りましたが、この貴重な経験は彼らを強くしたと思います。これからも頑張りますので今後ともご声援をよろしくお願いたします。

## 女子バスケットボール部 全国1勝の壁

女子バスケットボール部は7月28日～8月2日に鹿児島県で行われた全国高等学校総合体育大会に出場しました。

1回戦の相手は、静岡県代表の浜松開誠館高校です。試合序盤から、相手の当たりの強いディフェンスと、高確率のシュートに苦戦し、第1クォーターから6対33と大差をつけられてしまいました。

後半は文理1の4神山南帆さん（陽南中）の強気な1対1で奮闘するも、力及ばず、45対96で敗れてしまい、自分たちの力不足を痛感した大会となりました。またこの舞台で戦えるよう、精進し、努力してまいります。たくさんの方の応援ありがとうございました。



大会会場にて

## 第43回 全国高等学校総合文化祭

### Sing Sing Sing バントワリング部

バントワリング部の2・3年生は、佐賀県で行われた、第43回全国高等学校総合文化祭（佐賀県文）に出場しました。7月27日のパレード部門では、佐賀市内の大通りをパトンの演技をしながら、笑顔で楽しくパレードしました。

沿道の方たちからも笑顔で沢山の拍手を頂き、とても嬉しく、元気を頂きました。翌日、成績発表があり、栃木県としては初の「グッド・パレード賞」を受賞しました。

29日のバントワリング部門は、SAGAサンライズパーク総合体育館で開催されました。今年、「Sing Sing Sing」の曲でジャズのリズムに乗って、

- 出場メンバー
- 普通3の1 大垣なずな（城山中）
  - 普通3の1 根本陽奈（足利西中）
  - 普通3の2 池澤珠悠（北押原中）
  - 普通3の4 細谷蓮（城山中）
  - 文理2の1 岡田真琴（館林四中）
  - 文理2の3 茂垣美桜（小山三中）
  - 総進2の1 江原彩華（足利西中）
  - 総進2の2 山下香澄（大谷中）
  - 総進2の3 小川玲亜（結城中）
  - 文理1の4 神山南帆（陽南中）
  - 文理1の4 清水純（足利西中）
  - 総進1の2 丸山陽加（北押原中）



パレード

学校の壁を越え、一体感を感じながら演技をすることができ、大きな達成感を味わうことができました。

- 出場メンバー
- 文理3の1 後藤璃翠（足利二中）
  - 文理3の3 小林多恵（あすま中）
  - 普通3の2 黒崎舞（境南中）
  - 総進2の4 飯田舞香（宮郷中）
  - 総進2の4 松島朋花（敷塚本町中）

# 本校舎トピックス

## 大学見学

『帝京大学・白鷗大学を見学して』

5月29日、文理進学コースと総合進学コースの1年生による大学見学が開催されました。

午前は帝京大学宇都宮キャンパスを見学し、希望ごとに分かれて機械・精密システム工学、航空宇宙工学、情報電子工学、バイオサイエンス、柔道整復の講義に参加しました。

午後は白鷗大学に移動し入試概要の説明を受けた後、いくつかの



大学見学

グループに分かれて、大学生の誘導のもと、施設の見学をしました。

## 新入生歓迎球技大会

『ドッジボールソフトバレーボール大会』

5月28日、新入生歓迎球技大会が、スポーツ日和の天候の中開催されました。今年の球技大会は、学年別・男女別で、ドッジボールソフトバレーボールを選択し総当たりリーグ戦で実施しました。



ドッジボール

体育館では、ソフトバレーボールの熱戦が繰り広げられ、校庭では、



ソフトバレーボール

土煙を上げながらドッジボールの白熱した試合が行われました。新クラスが発足して、全員が協力し団結して取り組んだ初めての行事となりました。結果は、表の通りです。

令和元年度球技大会 ソフトバレー成績

学年	順位	男子	女子
1学年	優勝	総合進学コース4組A	総合進学コース4組
	準優勝	文理進学コース2組B	総合進学コース1組
	第3位		総合進学コース3組
2学年	優勝	文理進学コース4組B	文理進学コース2組A
	準優勝		総合進学コース3組
	第3位		
3学年	優勝	総合選択コース2組	普通コース1組
	準優勝		商業コース1組A
	第3位		商業コース2組B

令和元年度球技大会 ドッジボール成績

学年	順位	男子	女子
1学年	優勝	文理進学コース3組	文理進学コース3組
	準優勝	総合進学コース3組	
	第3位		
2学年	優勝	総合進学コース2組	文理進学コース1組
	準優勝	総合進学コース3組	
	第3位		
3学年	優勝	普通コース4組	普通コース4組
	準優勝	普通コース5組	総合選択コース1組
	第3位	普通コース1組	文理進学コース3・4組

## 学習合宿

『進路実現に向けて』

7月28～30日、文理進学コース1年生による学習合宿が長野県・志賀高原のホテル一乃瀬において

1年生は、入学して間もないということもあり、大学についてはほとんど無知の状態でありましたが、生徒達にとっては将来のことを考える良い機会になりました。この貴重な体験を、今後の学校生活や進路選択に生かし、生徒一人ひとりが進路実現に向けて真剣に考えられるよう、教員もしっかりとサポートしていきたいと考えています。



学習合宿

行われました。この合宿の目的は主要3教科の基礎学力の向上・上級学校への意識付け・受験学習方法の習得にあります。50分授業が15コマ・自習時間6コマあり、確認テストもありました。最初は戸惑いもありましたが、慣れてくるうちにその一コマ一コマの時間が短く感じなくなり誰もが真剣に取り組んでいました。

また、先生方から受験の現況や受験勉強の体験談などを聞いて、自分の受験に対する考えの甘さ・勉強時間の少なさや効率の悪さを痛感したようです。この合宿での貴重な体験を無駄にせず、学習習慣をしっかりと身に付け、2年後の受験に向け、自分の第1志望とする上級学校に合格できるように努力してほしいと思います。

## 商業コース 検定合格状況

商業コースは来年3月をもってその長い歴史に幕を閉じる事になり、現在の3年生が最後の学年となります。生徒たちは商業コースの名前に恥じないよう一生懸命に検定取得に努力をしてくれました。放課後の補習授業を受ける事はもちろん、中には昼休みにも、お弁当を食べながら勉強をした生徒もいました。夏休みも終わり、いよいよ進路決定の時期になりましたが、全員が希望する進路に進めるよう頑張っており、2学期以降も継続して努力することを期待します。

令和元年度1学期検定試験合格状況

検定名	1級	2級	3級	4級
全商ビジネス文書検定(ワーフ)	人数 4 合格率 9%	7 18%	3 60%	1 100%
全商簿記検定	人数 10 合格率 27%	4 21%		
全経電卓検定	人数 4 合格率 19%	5 36%		
全経電卓検定	人数 5 合格率 100%			

【1学期に上級の検定に合格した生徒】  
 《全商ビジネス文書実務検定 一級合格》  
 商業3の1 中見川 陸君(大平中)  
 商業3の1 楠田 琴乃(桑中)  
 総選3の1 近澤 佑香(栃木西中)  
 総選3の2 小保方利理(川内中)  
 《全経電卓計算能力検定 一級合格》  
 商業3の1 小島 葵生(山辺中)  
 商業3の2 佐々木 駿君(佐野北中)  
 商業3の2 松本 陣侃君(小山中)

# 富田キャンパスストピックス

## 富can祭

7月19・20日、晴天にも恵まれ富田校舎の文化祭である「富can祭」が行われました。今年「笑顔満祭」というシンプルなテーマでした。

初日、合唱部とダンス部によるオープニングイベントを皮切りに忙しい2日間が始まりました。2日目は保護者や卒業生を含む多くの方が、クラスの催し物を楽しむ姿を見ることができました。また、体育館での発表では、生徒による強い要望もあり、インディーズのバンド「PARK LIFE」を招き、発表のとりを飾っていただきました。来校者数も例年を上回り、今年も富can祭は大盛況のうちに終了しました。



有志による発表

ていきましたが、その顔は皆、「笑顔満祭」だったように思います。

## ポスター&テーマ

富can祭のポスターとテーマは毎回生徒から募集して決めています。今年も12作品の応募がありました。今年からは2作品の応募がありました。松葉美帆子さん（毛野中）の作品が選ばれました。テーマは特進2の1亀田凜さん（足利二中）の作品が採用されました。「笑顔満祭」のテーマにふさわしく、本校生徒、来校してくださった保護者、卒業生、その他多くの方々皆が素敵な笑顔になった富can祭でした。



## 富can祭を終えて

生徒会副会長 進学3の3 渡邊 旭(栃木西中)

7月19・20日に、富can祭が開催されました。3年生としては高校生活の集大成、生徒会副会長としては現生徒会の仲間と作り上げる最後の行事だったので、気合



生徒会作成のうちわを手に

いを入れて臨みました。各クラスや部活動、有志団体の企画書が提出され、準備が始まると、生徒会も何か新しい試みをしようということで、手作りうちわを作成して来校者に配付することにしました。

初日の副会長挨拶は緊張しましたが、富can祭にかけた思いを伝えることができました。2日目の一般公開では、多くの来校者がオープニングセレモニーに駆けつけてくれました。大勢の人が見守る中、須藤教頭先生と実行委員長の太田君と一緒にテープカットをしたことは高校生活のいい思い出にもなりました。生徒会作成のうちわも好評で、800部作ったうちわはあつという間に配付し終えてしまいました。校内にたくさん笑顔が溢れているのを見て、副会長として運営に関われたことを誇りに思いました。

富can祭が成功に終わったのも、生徒会の仲間や全校生徒、先生方の協力があったからだと思います。本当に感謝しています。

## 笑顔が咲いた文化祭

実行委員長 進学3の1 太田 陸久(小山城南中)

「みんなの笑顔が溢れる文化祭にしよう。」今回のテーマが決まった時に、実行委員長として目標を掲げました。しかし、富can祭は3年に一度の実施のため、富can祭は3年に一度の実施のため、生徒全員が未経験、追い打ちをかけるように天気も雨予報、不安が多くなりました。また、準備期間の直前には定期試験もあり、時間も限られていたため、どのクラスも朝の早い時間から、前日の夕方まで準備を行い、本番に向けて完成を急ぎました。

そんな中始まった1日目、予報と違って雲ひとつない快晴。天気も味方につけてどのクラスも大変な盛り上がりを見せました。2日

## 姉妹校交流

アメリカから留学生が来校

6月19・25日、アメリカカ・ウィスコンシン州にある姉妹校のマディソン・カントリー・デイ・スクール(以下MCDS)より6名の留学生が来校しました。

昨年、MCDSに語学研修へ行った生徒たちは、友人との再会に喜んでいました。また、そうでない生徒も新しい友人との出会いに緊張しながらも、嬉しそうでした。

日も恵まれた天気となり、多くの来校者を迎えることができました。各クラスのユニークな工夫が施された催し物や模擬店、体育館で行われた有志によるパフォーマンス、そして、特別ゲストとしてお招きしたPARK LIFEさんの演奏により、大盛況のうちに2日間の富can祭は幕を閉じました。

精一杯力を尽くしたことで、生徒・先生・来校者全員が笑顔で過ごすことができた素晴らしい文化祭となり、最高の思い出となりました。



模擬店の様子



みんなで記念写真

短い期間の交流となりましたが、両校の交流の歴史に新たな1ページを刻むことができました。

# 学習合宿

7月28～30日の3日間、1、2年生は長野県志賀高原にて、3年生は群馬県伊香保温泉にて学習合宿を行いました。以下は、参加した生徒の感想です。

## 受験生として

特選3の1内藤 智大(佐野西中)

この3日間は私にとって勉強意識の大きな変換点となりました。合宿に来る前、私はただひたすら第1志望校に合格できるように点数を上げるために勉強をしてきました。そして、勉強を進めていくうちにいつの間にか受験の合格が最後のゴールであるかのような意識が強くなっていました。そんな時、合宿中にお世話になった講師の先生方の言葉に私は胸を打たれました。「将来役に立つ知恵やスキルを身につけることが大切である。大学での学びはそのスタートラインなのだ。」

大きなゴールではなく、人生をより豊かにするという大きな夢のスタートラインに立つために勉強しているのだと実感することができました。今回の合宿では勉強だけでなく、これからの自分の将来にとってとても大切なことを学ぶことができました。



授業風景

## 学習合宿に参加して進学2の3小貫 莉奈(多々良中)

今回の学習合宿では、私たちの学年から始まる共通テスト対策をはじめ、様々な教科の授業がありました。特に共通テスト対策では、今までの入試問題とどこが異なるのかを実際に解きながら講義を受けました。共通テストでは思考力、表現力を問う問題が新たに出题されるため、公式や解法パターンを覚えるのではなく、内容をしっかり



個別相談コーナー

り理解することに加え、自分の考えを持ち、それを相手に分かりやすく伝える力も必要だということが分かりました。共通テストは、当然ながら過去問等も無いため対策を立てることも難しいですが、基礎をしっかりと固め、自分の進路を実現できるように日々の勉強を大切にしていこうと思いました。

## 白鷗理科室

8月6日、助戸公民館にて、地域の小学生を対象とした白鷗理科室



浮沈子づくりの体験

私が学習合宿での10時間を越える学習を乗り越えられたのは、共に頑張った仲間や、授業以外でも親身になってサポートしてくれた先生方のおかげだと思います。この経験を生かし、今後の学習に励みたいと思います。

## 学習合宿で得たもの

特進1の1新井 花菜(佐野西中)

初めて参加した学習合宿は、私にとって有意義な3日間になりました。この合宿では、勉強をすることはもちろんですが、自分で学習計画を立て、実施し、その日の最後に計画通りにできたかどうかを反省し、その反省を生かして再計画を立てる、というサイクルを身に付けるという目的もありました。

教室が行われました。理科室は、足利高校と共催したものも含めると、9回目の開催となりました。今回も白鷗大学足利中学校との共催でした。高校からは新たな内容の実験を含む8つの実験を、中学校からは4つの実験を用意しました。小学生たちは、初めて見る実験に目を輝かせながら生き生きと取り組んでくれました。実験を指導する立場となった生徒たちも、はじめは小学生への対応に戸惑う場面もありましたが、時間とともに、上手に対応できるようになりました。普段の授業では見られな

た。

私は、この合宿で数学の予習と化学基礎の復習を主な目標として学習に取り組みました。事前にしっかりと計画を立てていたことや学習に専念できる環境であったこともあり、いつも以上にやる気もできましたし、集中して取り組むことができました。

また、友人たちと生活を共にしたことで、協力し合うことや一人ひとり責任をもつて行動をするなど大切なことも学びました。もちろん、学習に関しても、生活に関しても、反省しなければいけないことがたくさんあります。そこで、来年も学習合宿に参加し、今年の実省をもとに、さらなる学力向上を目指したいと思います。



参加した生徒たち

い明るい表情や楽しそうな笑い声が、随所におこり、有意義な半日になったようです。この大盛況を受けて、今後も継続して取り組んでいこうと考えています。

# 白鷗大学だより

PLUS ULTRA —さらに向こうへ。

## 男子バスケットボール部が 関東選手権大会で初優勝

男子バスケットボール部が「第68回関東大学選手権大会」の頂点に輝きました。同部23年間の歴史の中で同大会の優勝は初です。

5回戦から登場した同部は、準々決勝で昨年のインカレ王者・東海大学を下すと、準決勝でも強豪の専修大学を破って決勝に駒を進めました。決勝戦は、大会4連覇を狙う筑波大学との対戦。2年前の決勝では57対115で完敗しており、当時を知るメンバーは雪辱に燃え試合に臨みました。開始直後は2対10と劣勢でしたが、粘り強いディフェンスからのターンオーバーを重ね、第2クォーター



優勝の瞬間喜び合う選手たち

で逆転し37対28で前半を折り返しました。後半は相手のゾーンディフェンスに苦しみながらも、猛烈な追い上げをかわして66対58で栄光を掴みました。個人賞でも最優秀選手賞に前田怜緒選手（教育学部4年）、優秀選手賞に中川繪選

## 裁判員制度施行から10年 国際シンポジウムを開催

国際シンポジウム「裁判員制度と検察審査会強制起訴制度の10年

—国際的視点を交えて」（白鷗大学法学部・白鷗大学法政策研究所共催）が5月18日、本キャンパス白鷗国際ホールで行われました。

これは、今年で裁判員制度と検察審査会強制起訴制度開始から10年の節目を迎えるにあたって開催されたものです。本シンポジウムは、公益財団法人社会科学国際交流江草基金から国際研究集会助成を受

けて開催されました。

本法学部の平山真理教授や、國學院大学の四宮啓教授ほか国内外の専門家による講演や、日本、アメリカ、ベルギーの司法制度を比較したディスカッションが行われました。会場には、学生や一般の方も含め130名程が参加し、制度の現状や課題について理解を深めました。

また、平山ゼミの学生がシンポジウム運営を手伝い、日ごろの授

## 1Bインカレ 今年11月に本学で開催

手（教育学部4年）、デイオット・マムシエッハ・イブラヒマ選手（経営学部4年）が輝きました。網野英雄監督は、「部として初のタイトルを獲得できたことは大変嬉しいですね。4年生がスタメンから控え選手までいい仕事をしてくれました。今回の優勝で壁を一つ越えることができました。今後もチャレンジャーとしての姿勢は変えず、さらなる高みに向けて精進していきます。」と秋のリーグ戦、インカレも制覇して「大学バスケット」を目指します。

「第9回国際ビジネス研究インターカレッジ大会」が、11月30日

業や学生生活では得ることのできない貴重な経験を得ました。

7月3日には、在学生向けに裁判員制度の出張説明会が行われました。現職裁判官から裁判員制度の仕組みや、現状、今後の取り組み等について紹介され、多くの学生が参加しました。



刑事訴訟法を専門とする平山教授

に本キャンパスで開催されます。同大会は、国際ビジネスをリードするグローバル人材の育成を目指して行われており、国際ビジネスを研究しているゼミナールが研究成果をプレゼンで競い合う、学生を主体とするチーム対抗の研究報告の全国大会です。

昨年の大会には、12大学16ゼミナール27チームが参加し、本学からは内堀敬則ゼミ2チームと、鈴木里ゼミ4チームが出場しました。鈴木里ゼミの「おもてなし概念研究におけるデモグラフィック特性細分化アプローチの可能性」は、おもてなしを目指しては、プレゼン賞を受賞し、大きな成果を残すことができました。今年も本学学生の活躍が期待されます。

内堀敬則経営学部教授は、「本学は第1回大会から出場しており、規模が拡大するなか成果を収めています。本年度は本学が主催校なので、全国から集う学生たちにプ



昨年1Bインカレに参加した内堀ゼミと鈴木ゼミ生たち

ルス・ウルトラのスピリットで挑んでもらいたいです。」と期待を寄せています。

